

第210回イタリア映画鑑賞会

入場無料

- 日 時：2024年4月5日(金)18:00 開場 / 18:30 開演 (21:00 頃終演予定)
- 会 場：あじびホール
(福岡市博多区下川端町 3-1 福岡アジア美術館 8 階 / TEL 092-263-1100)
- 入 場 料：入場無料 / 先着 100 名様

※事前申込は不要です。直接会場へお越しください。なお、定員(100名)になり次第、締め切らせていただきます。

※やむを得ず、急遽上映作品の変更や鑑賞会を中止にする場合がございます。

第 210 回上映作品

『2 ペンスの希望 Due soldi di speranza』

(1951年 92分 イタリア語/日本語字幕)

監 督 / レナート・カステラーニ
原 作 / レナート・カステラーニ、エットレ・M・マルガドンナ
脚 本 / レナート・カステラーニ、ティティナ・デ・フィリッポ
音 楽 / アレッサンドロ・チコニーニ 撮 影 / アルトゥロ・ガルレア
編 集 / ヨランダ・ベンヴェヌーティ 製 作 / サンドロ・ゲンツィ
出 演 / マリア・フィオーレ、ヴィンチェンツォ・ムズリーノ、村人達

1952年、カンヌ映画祭グランプリに輝いた作品です。イタリアは1950年代から60年代にかけて奇跡の経済成長を遂げ、大きな転換期を迎えます。1940年代から50年代にかけて、「ネオレアリズモ」で貧しい市井の人々の悲劇を描いてきたが、深刻なタッチから喜劇的な「バラ色のネオレアリズモ」へと変わる最初の作品です。何故「リラ」ではなく「ペンス」なのかはわかりませんが、日本では『ささやかな希望』の邦題で公開されました。監督はレナート・カステラーニ、撮影はナポリ近郊の村で行い、出演者は素人役者を起用しています。

封建的な金持ちの父親や息子に依存する母親、気の強い娘など、観ていて腹立たしく、いらいらするのですが、最後、笑わせて泣かせるのは、やはり監督の上手さだと思います。

兵役を終え、ナポリ近郊の寒村に帰って来たアントニオ。村には失業者があふれ、母や姉妹を養う為に、彼はどんな仕事でもするのだが、貧しさは変わらない。そんな時、彼のことを好きなカルメラが現れる。しかし、花火屋の彼女の父親は貧乏な彼との結婚を許さない。彼はナポリに働きに行くが...

70年前の作品ですが、今観ても人々の心を感じます。お楽しみください。

(解説 湯越 勘一)

《お問合せ先》 福岡日伊協会 事務局 渡・本村・清家
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-3-6 西日本シティ銀行内
TEL: 092-476-2153 / FAX: 092-476-2634
E-mail: aigfukuoka2@galaxy.ocn.ne.jp